

リモコンキーの電池交換方法

リモコンキーの「あける」または「しめる」ボタン操作時に、電池交換警報ランプ（赤色）が点灯する場合は、電池の交換時期です。

電池寿命は、1日10回の操作で約4年です。定期的な電池交換をお勧めします。

電池交換警報ランプ（赤色）が点灯したら、早めに電池交換してください。

リモコンキー用の電池は、コイン型リチウム電池（CR1616）です。
カメラ店・家電販売店で買い求めいただけます。

■電池交換方法

①リモコンキー側面の溝（矢印A）にコインを挿入し、回しながら裏ぶたを開けます。

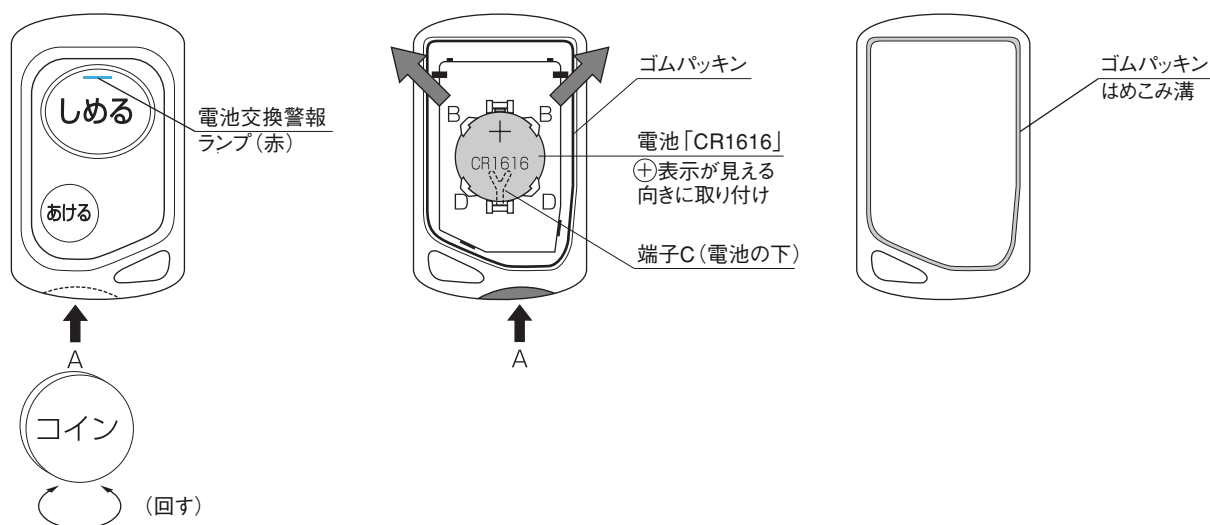
このとき、ゴムパッキンがはずれることがあります。はずれた場合には、下図のとおり元の位置（溝）にはめてください。

②古い電池を取り出します。2ヶ所の爪（B）を外側に開くようにして、電池を上へ上げてはずします。

③新しい電池の「+（プラス）」の表示を上にしてケースに入れます。

電池を挿入する場合は、電池ホルダー底面にある端子（C）が電池の下側になるように入れます。

④裏ぶたをもとに戻します。



【リモコンキーの電池交換時の注意事項】

- ・電池を取りはずすときに無理に引っ張ると、電池を押えている爪（B,D）および基板や端子が破損するおそれがあります。
- ・電池は、逆向きには入れないでください。無理に入れると電池を押えている爪（B,D）および基板や端子が破損するおそれがあります。
- ・電池を端子（C）の下に入れしないでください。無理に挿入すると、破損するおそれがあります。
- ・電池交換後、1回目の操作で電池交換警報ランプ（赤色）が点灯することがありますが、異常ではありません。
- ・お買い上げ時、リモコンキーに内蔵されている電池はモニター用電池です。電池寿命は、所定期間未満です。

